

実行計画の3つの重点施策による主要事業の予算額

1 市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策

産業を強化し、新たな価値を創出する	
中小企業金融対策事業	532万円
ものづくり人材育成事業	80万円
有害獣対策事業	9,373万円

地域資源を活かし、新たな魅力を創出する

地磁気逆転地層保存活用事業	2,965万円
地磁気逆転地層等を国天然記念物に指定し保存保護を図るとともに、学術研究や教材として活用します。また、地層と周辺景観を地域資源ととらえ、見学環境を整えていきます。	

「市原」ナンバー導入事業	144万円
移住・定住促進事業	219万円

あらゆる世代の活躍を推進する

いちばらポイント制度構築事業	754万円
----------------	-------

確かな学力と豊かな心を育む

基礎学力定着推進事業	4,130万円
小学3～5年生を中心に、少人数指導や放課後の学習支援など、学力の向上に取り組めます。このため、16校に基礎学力定着特別講師を配置し、少人数で授業を行うことで、個別のつまずきに対応します。	

東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを活かす

2020年東京オリンピック・パラリンピック等推進事業	709万円
ニュージーランドのホストタウンとして、世界女子ソフトボール選手権大会に向けた同国代表の事前キャンプを受け入れ、国際交流を推進します。また、キャンプや大会を通じ、さまざまなレガシー（遺産）を創出していきます。	
2018年世界女子ソフトボール選手権大会関連事業	359万円

2 ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策

放課後児童クラブ整備事業	4,037万円
完全給食の実施	872万円
市民活動支援事業	1,503万円

住民主体の通いの場補助事業	1,925万円
民生委員協力員設置事業	25万円

3 ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策

前立腺がん検診事業	897万円
-----------	-------

地区防災計画作成事業（いちばら防災100人会議）	434万円
地域で活動する各団体から選出された人と無作為抽出で集まった市民123人で会議を開催し、防災意識の向上を図ります。これにより、地域の特性に応じた「地区防災計画」の策定や地域コミュニティの創出につなげます。	

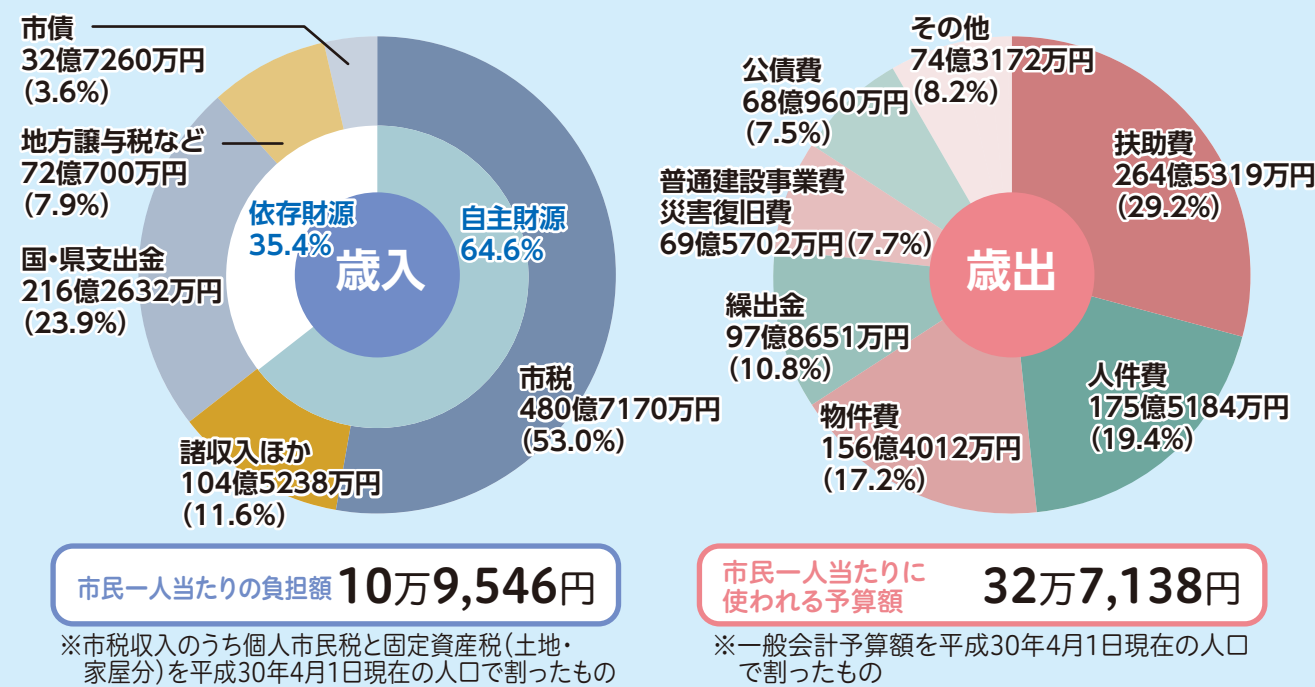
消防団処遇改善事業	1,890万円
コンビナート保安推進対策事業	10万円

小中学校非構造部材耐震対策事業	2,127万円
都市計画道路整備事業	5億1,620万円

石綿セメント管更新事業	3億9,755万円
-------------	-----------

一般会計

福祉や教育、道路整備などを行うための基本的な経費の会計



市民一人当たりの負担額 10万9,546円

市民一人当たりに使われる予算額 32万7,138円

※市税収入のうち個人市民税と固定資産税(土地・家屋分)を平成30年4月1日現在の人口で割ったもの

※一般会計予算額を平成30年4月1日現在の人口で割ったもの

・予算を家計簿でイメージしてみよう

市の平成30年度一般会計予算を年収500万円の家庭に例えて、家計簿に置き換えてみました。

収入(月額)	
給与 基本給	22万1,007円
諸手当	2,264円
パート収入	1万4,207円
貯金の取り崩し	9,266円
前年の残預金	2,299円
雑所得	2万18円
親からの仕送り	13万2,560円
銀行からの借入	1万5,046円
合計	41万6,667円

支出(月額)	
食費	8万694円
医療費	12万1,617円
光熱水費・通信費	7万1,905円
家の増改築	3万1,984円
家の修繕	5,684円
交際費	1万9,273円
子どもへの仕送り	4万4,993円
ローン返済	3万1,307円
貯金	571円
雑支出	8,639円
合計	41万6,667円

・平成29年度の予算の執行状況

(平成30年3月31日現在)

会計・事業	予算額	収入状況	支出状況
一般会計	954億9,467万円	833億6,504万円 87.3%	747億8,903万円 78.3%
特別会計			
国民健康保険	353億4,658万円	298億6,588万円 84.5%	327億661万円 92.5%
後期高齢者医療	27億6,553万円	22億597万円 79.8%	24億193万円 86.9%
介護保険	191億6,325万円	158億8,121万円 82.9%	169億6,394万円 88.5%
農業集落排水	6,993万円	741万円 10.6%	5,826万円 83.3%
下水道	64億7,496万円	31億5,177万円 48.7%	46億8,796万円 72.4%
企業会計			
水道	収入 30億6,229万円	30億1,180万円 98.4%	42億4,363万円 97.9%
	支出 43億3,663万円		

予算編成の基本方針
計画・予算・組織改革などを互いに連動させ、予算の実効性を高めます。そのため、3つの重点施策(1)市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策(2)ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策(3)ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策に、予算を集中的に配分しました。

予算の規模
一般会計予算は、平成30年度に予定していた部の事業を国の補正予算に対応し、平成29年度に前倒したことから、前年度比0.1%増です。

歳入
主要な財源である市税は、前年度比1.5%増の480億7170万円を計上しました。

歳出
歳出予算は、昨年度に防災庁舎建設事業が終了したことや、平成29年度補正予算に前倒した事業があることから、減額予算となりました。

財政調整基金
市の貯金となる財政調整基金は、実行計画の着実な推進に向け、前年度を上回る12億1千万円の繰り入れを計上しましたが、本市財政運営の基本方針として、40億円以上の残高を確保しています。

歳入確保の取り組み
歳入確保策として、国県支出金の獲得、市税等の収納率の向上、市有財産の貸付・売却、ふるさと寄付金の増大などに努めます。

市債
市の借金となる市債(一般会計分)は、防災庁舎建設事業の終了などにより、前年度比34.3%減の32億7260万円となりました。

特別会計
特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計

国民健康保険	285億9,800万円	21.9%減
後期高齢者医療	29億5,380万円	9.6%増
介護保険	202億9,530万円	8.2%増
農業集落排水	8,000万円	14.9%増
下水道	54億7,450万円	10.7%減

特別会計	574億160万円	
企業会計	50億5,270万円	
水道	50億5,270万円	前年度比 11.8%増

市有財産の状況		市債現在高の状況	
土地	972万4,142平方メートル	一般会計	469億7,832万円
車両	464台	農業集落排水事業特別会計	3億2,392万円
出資による権利	4億5,218万円	下水道事業特別会計	203億4,367万円
建物	73万7,083平方メートル	水道事業会計	122億8,401万円
基金	124億7,882万円	合計	799億2,992万円
証券	4,150万円		

市有財産の状況		市債現在高の状況	
土地	972万4,142平方メートル	一般会計	469億7,832万円
車両	464台	農業集落排水事業特別会計	3億2,392万円
出資による権利	4億5,218万円	下水道事業特別会計	203億4,367万円
建物	73万7,083平方メートル	水道事業会計	122億8,401万円
基金	124億7,882万円	合計	799億2,992万円
証券	4,150万円		

ふるさと寄付金
ふるさと寄付とは、生まれ育った故郷、ゆかりのある地域などに「寄付金」の形で応援できるものです。平成29年中に寄付された金額は1億3,688万2,000円でした。

平成30年度 予算を公表

魅力あふれるまちづくりを 活躍できる 誰もが住みやすく

総合計画・実行計画の2年目となる平成30年度の予算は、「変革と創造」の理念のもと、総合計画のスタートダッシュをより確かなものとするため、積極的な予算編成を行いました。予算の概要と主な事業をお知らせします。

減の906億3千万円となりました。

特別・企業会計では、国民健康保険の運営主体が県に移行したことなどにより、前年度比9.2%減の624億5430万円となりました。

一般会計と特別・企業会計を合わせた市全体の予算額は、前年度比4.0%減の1530億8430万円となります。

市債の借入金となる市債(一般会計分)は、防災庁舎建設事業の終了などにより、前年度比34.3%減の32億7260万円となりました。

市の貯金となる財政調整基金は、実行計画の着実な推進に向け、前年度を上回る12億1千万円の繰り入れを計上しましたが、本市財政運営の基本方針として、40億円以上の残高を確保しています。

歳出予算は、昨年度に防災庁舎建設事業が終了したことや、平成29年度補正予算に前倒した事業があることから、減額予算となりました。

なお、社会保障関連経費である扶助費は、子育て関連経費、障がい者福祉費、生活保護費などの増加により過去最大を更新し、総額で264億5319万円、前年度比6.1%の増加となっています。

問合せ先 財政課
☎ 9809

報公開コーナー、中央図書館などで閲覧できます。また、市ウェブサイトでは予算書のほか、予算に関する詳しい資料を掲載しています。